

2014年度第3回 日本学連幹事会 議事録

発言者 (敬称略)	発言内容など
	<p>4.スキーオリエンテーリング世界学生選手権2016への対応について</p> <p>2016年に開催が予定されている、スキーオリエンテーリング世界学生選手権の日本代表を選考するため、それに関する事項について確認がなされた。そして、「日本学連スキーオリエンテーリング委員会」の設立が承認された。</p>
宇井	<p>木村理事から連絡があり、(スキーオリエンテーリングに関して)確認してほしいことが3つ出されている。</p> <p>【確認すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本学連は日本の学生オリエンテーリングを代表する唯一の組織である。 ・オリエンテーリングの範疇は、フットO、スキーO、MTBO、トレイルOを指す。 ・学生日本代表選考は、日本学連が行う。
宇井	<p>これらについて異論はないだろうか。</p> <p>→特に異論は出されず、幹事会で確認されたこととした。</p>
宇井	<p>また、「日本学連スキーオリエンテーリング委員会の設立の承認をいただきたい」とのことである。委員長は木村理事が務める。2014年度の予算要求はなく、スキーオリエンテーリング世界学生選手権の日本代表選考は、日本学連スキーオリエンテーリング委員会が行うとのことである。これについても異論はないだろうか。</p> <p>→特に異論は出されず、「日本学連スキーオリエンテーリング委員会」の設立が承認された。(現幹事13人中賛成13反対0)</p>
	<p>6.インカレミドルBエリートについて</p> <p>幹事会としての方針として、「選手権Bはかつての予選・決勝方式からの移行措置で設けられたクラスであり、現在ではその存在価値があいまいになっていること、それに選手権Bの結果次第で選手権Aの学連枠が決まる理由もあいまいであることを踏まえ、廃止することが望ましい」、そして「廃止する場合、選手権の部の出走者数は、現在の加盟員・インカレ参加者の男女比を鑑みて、男子60(ロングと同数)女子30(ロングより10少ない)とする」こととなった。</p>
宇井	<p>昨年12月に開催した第2回臨時総会后、大西・技術委員長からのメールを渉外メーリングリストへ転送した。そこでは、Bエリートを廃止する場合における、3月の総会までのロードマップについて説明がなされている。</p> <p>さらに、リマインダーを渉外メーリングリストを送った。しかし、うまく送られていなかったようだ。それ以前にも各加盟員からの意見をまとめているが、この幹事会の後も意見をまとめる機会があった方がよいだろう。</p>
宇井	<p>今日主に話し合うことは、幹事会としての方向性の確認である。</p> <p>前回までの幹事会では、(Bエリートを廃止した場合)当初の技術委員会案にあった「一般の部上位クラス」は設けないこととした。Bエリートについては、廃止反対の意見が少なくないので、その意見をどのように反映させていくのか、問題になっている。</p> <p>また、廃止する場合は、選手権の部の出場人数については、議論の流れでは、男子60女子30であったが、いろんな意見があったので、議論の余地があると思う。ここでは、Bエリートを廃止する前提で、選手権の部の出場人数について議論していきたい。</p> <p>今回出してくれた意見の中には、「現在Bエリート上位の層にいる選手に対して、エリート出走のモチベーションを保つために、(Aエリートの出場人数)+(Bエリート出場人数の半分)=男子80女子35もしくは40ではどうだろうか」とか、「Bエリート廃止反対の意見の中に、Bエリートのモチベーションを保つ、とあるが、これはエリートの人数を増やすことによって代償できるのではないだろうか。具体数は男子80女子40である。」という意見があった。男子と女子の人数を増やすことについては、どう思うだろうか。</p> <p>実力的にあともう少しでAエリートとなれる人にとっては、「エリートの人数を増やすことによって、チャンスが増える」という意味で、そのモチベーションを保つことができるかもしれない。ただ、あまり多すぎると、1番速い人と遅い人との実力の差を考慮したとき、選手権として価値があるのか疑問が生まれる。運営面でも時間が厳しくなるだろう。</p> <p>みんなはどう思うか。男子60女子30にすべきか、それとももっと増やすべきだろうか。</p> <p>→男子60女子30とすべき:8、男子80女子40:0、男子60女子40:8</p>
宇井	<p>選手権の部はある程度人数を絞った形で行うべき、だということなのだろう。</p>
五味	<p>ロングの選手権の分出走者数(男子60女子40)と比べて、女子の人数が少ない。</p>
齋藤	<p>現在の加盟員数とその男女比を見てから決めるべきだと思う。現在の選手権の部出走者数は、開催方式が変更されたときの加盟員の男女比で決めているが、当時女子は現在より少なかった。</p>
新粥	<p>現在の加盟員数は、男子823人、女子403人、合計1226人である。</p>
橋場	<p>人数を増やすとした場合、運営負担を考えると、どのくらいが限界なのか。</p>

齋藤	出走者を20人増やすだけで、スタート時間が40分伸び、その分観戦時間も延びる。間延びすることとBエリートへのモチベーションのどちらを優先させるか問題となる。ただ忘れてほしくないのは、インカレの一番の目的は「学生日本一を決めること」である。
野本	今年の全体のインカレミドル参加者は816人、リレー参加者は829人であった。
杉村	今年の女子の参加者は、おおよそ240人くらいである。
宇井	男子60女子40にすると、女子の方が参加者数に対してエリートを走る割合が高くなる。参加者数から判断すれば、男子60女子30の方が妥当だろう。
佐藤	この辺の数字を示して、各加盟校で話し合ってもらった方がいいだろう。
大西	みんなから「今の枠は少なすぎる」という意見が上がってくるのならば、変えるべきだと思うし、そういう意見が少数派で、今の数の方がよいと思うのならば、そういう説明をすればいいと思う。ただ、幹事会としての意見は決めておいた方がいいと思う。
宇井	幹事会の意見としては、「Bエリートを廃止する場合、選手権の部の出走者数は、男子60女子30とする」ことでよいだろうか。 ただ、幹事の中に「Bエリートを残すべきだ」という意見の人もいてもおかしくはないと思う。幹事の意見を確認したい。 →インカレミドル選手権Bを廃止すべき:16、存続させるべき:1 →廃止する場合の選手権出走者数について、男子60女子30トすべき:17、男子60女子40トすべき:1 → 幹事会としては、「Bエリートを廃止し、(選手権出走者数を)男子60女子30とする」方針となっ
齋藤	幹事会としての意見に至った理由を加えた方がよい。
宇井	(これまでの議論をまとめると、選手権B廃止の理由としては、)選手権の部は本来学生日本一を決めるためのクラスであり、「Bエリート」という存在意義やBエリートの結果次第で学連枠が左右される現制度の理由があいまいになっていること、さらに、Bエリートという存在自体は、かつての予選決勝方式が現方式へ変更された際の移行措置の名残であったことが挙げられる。 選手権の部の出走者数については、増やしすぎると「学生日本一を決める」という目的に沿わなくなる。インカレ参加者数の人数比をみると、男子:女子=2:1であるから、男子60女子30トすべきというところだろう。
佐藤	幹事会としての意見を涉外メーリングリストで周知し、3月の総会で決めていきたい。